

Q ゼロカーボンシティを表明した理由は

A 災害に強く持続可能なまちを構築することを目的に表明した。

問 ゼロカーボンシティを表明した理由は。

市民部長 近年、地球温暖化が原因と考えられる急激な気候変動により、世界各地で異常気象や海面上昇、またこれに伴う災害が頻発している。国内においても、これまで経験したことのないような集中豪雨が全国各地で発生するなど、近年の急激な気候変動により、災害が激甚化、頻発化している状況にあり、令和4年8月27日には、東町や大間々町北部において土砂崩れなどの豪雨災害が発生している。このような中、みどり市としても地球規模で進行する温暖化、またこれに起因する環境問題への取り組みを強化し、未来の子どもたちが笑顔で暮らせるよう、2021年12月に人材育成など本市の独自性を打ち出した「みどり5つのゼロ宣言」と併せて、災害に強く持続可能なまちを構築することを目的に表明した。

問 ゼロカーボン実現に向け、どのような取り組みを考えているか。

市民部長 温暖化の原因となる二酸化炭素に代表される温室効果ガスの多くは、化石燃料を使用する際に排出されることから、ゼロカーボンを推進するためには使用される化石燃料をいかにして減らしていくということが重要となる。そのため本市では、日照時間の長さや本市北部に広がる森林資源を有効活用した再生可能エネルギーの利用増進、EV車用の急速充電設備の導入や、「電話でバス」の車両を液化ガスエンジン（LPG）に改造するなど、環境に優しい移動手段の推進、各種リサイクル事業や生ごみ減量化対策補助金の拡充など、大きく3つの取組に力を入れている。さらに、ゼロカーボンを推進する上で、再生可能エネルギーによる発電は大変有効な手段であることから、今後は長い日照時間や森林資源に加え、市内を流れる河川などの水資源を活用した取り組みの可能性についても研究していきたいと考えている。

問 市民にどう定着させていくか。

市民部長 ゼロカーボン社会の実現には、電気を小まめに消すといったような、市民一人一人のライフスタイルの転換が重要と考える。そのため、「みどり5つのゼロ宣言」では、2050年までに5つのゼロを達成するため、重点取組の1つに人材育成を位置付けている。人材育成に特化した取り組みを継続、強化し、市民一人一人のライフスタイルの転換を図り、ゼロカーボン実現に向けた取り組みを市民に定着させていきたいと考えている。